

生涯教育研修活動報告書

生理検査研究班

- 1 実施日時：2024 年 8 月 4 日 13 時 30 分～16 時 30 分
- 2 会 場：BearMedi 事務所 教科・点数：専門教科－20 点
- 3 主 題：【第 2 回エコーハンズオン】陰嚢超音波検査をはじめよう
- 4 講 師：石丸 直（埼玉医科大学病院）
- 5 協 賛：なし
- 6 参加人数：会員 7 名 賛助会員 0 名 非会員 0 名
- 7 出席した研究班班員：南雲涼太、島内一輝
- 8 研修内容の概要・感想など

6 月に開催した超音波実技講習会に引き続き、第 2 回目のハンズオン企画である。超音波装置は 1 台、参加者 4 名、スタッフ 2 名、講師 1 名の計 7 名で開催した。

初心者を対象とし、陰嚢超音波検査における検査準備、患者の体位と走査法を学び、陰嚢内容の解剖、正常画像の理解、主な疾患における超音波画像の特徴について講義をしたのち実技講習をおこなった。石丸氏より精巣、精巣上体、精索を中心にライブデモをおこなった後、実際に参加者が描出をおこなう形で講習を進行した。

施設によって症例数にバラツキがあり参考資料や文献が多くないこと、領域的に容易に練習ができず苦手意識をもつ技師も少なくない。プローブを握り、実際に描出した画像についてその場でアドバイスを受け修正していくことができるのは実技講習の大きな利点と考える。石丸氏から、臨床症状や身体所見を理解し正常画像を理解することが大切で、両側性の疾患が少ないことから、「左右の陰嚢を観察し比較することが重要」とメッセージがあった。陰嚢はスクリーニング検査として依頼されることはまれで、多くは何らかの症状を伴った患者が対象となるため、正常画像の理解がなければ病変に気づけない可能性がある。また、急性腹症の鑑別疾患や今後の生殖機能を大きく左右するものまで多彩な病態を示すため、正確で迅速な診断が要求される。セミナーで得たことを臨床に還元されることに期待したい。

今回、教育、指導できる専門医、先輩技師が少ない陰嚢をテーマにハンズオンセミナーを開催した。他都道府県や民間でおこなわれているハンズオンセミナーでの企画でもあまり見かけない、需要、実用性の高い講習会を今後も積極的に企画していきたいと思う。

提出日：2024 年 8 月 23 日

文責：島内一輝